

カラフルな未来を

中学生の皆さんは
勉強や部活動、友達と深く関わるなど
今、とても大切な時を過ごしています。
これからの自分の進路について
真剣に考えていく時期でもありますね。

そんなときに、性別にかかわらず
自分の進路を選択することができ、
それぞれの個性や能力を生かすことができるのが
「男女共同参画社会」であり
「ジェンダー平等」です。

誰もが自分の
進みたい道を選び
ミライに向かって頑張れる。
その人を応援できる。
そんな社会を
これから創っていくのも
皆さんです。

みんなが輝くカラフルな未来に
していきたいですね。

このパンフレットを読んだ
感想をお聞かせください
アンケートはこちらから



発行 令和5年3月
山梨県男女共同参画・共生社会推進統括官
〒400-8501 甲府市 丸の内 1-6-1
TEL / 055-223-1358 FAX / 055-223-1320
E-mail danjo-kyosei@pref.yamanashi.lg.jp

COLORFUL

カラフル

中学生×ミライ

CONTENTS

- あなたもわたしも大切なひと
- ジブンについて考えてみよう
- 夢をあきらめないで
- 中学生の君へ
- 知っていてほしいこと
- カラフルな未来を



あなたもわたしも 大切なひと



色鉛筆にも絵の具にも、たくさんの色があります。
明るい色、暗い色、華やかな色、深い色
どの色も素敵です。

同じように、
私たちの社会にはいろいろな
ひとがいて、さまざまな生き方があります。

誰もが「自分らしく」生き、個性と能力を
発揮しながらお互い支え合っていれば、
生きやすく、暮らしやすい社会をつくって
いくことができます。

ジブンについて 考えてみよう

あなたはどんなひと？どんなことが好き？



あなたには、好きなことや得意なことがたくさんありますよね。
もちろん、あなたの友達も同じです。
自信をもって、いいところを伸ばしていきたいですね。

でも。。。。

男子が花や
手芸が好きって
なんか変わってるね

簡単に泣いちゃ
だめだよ
男の子なのにさ

え？虫が
怖くないの？
女子なのに

男なら、
外に出て、みんなと
野球とかした
方がいいよ



女子って仲良し
グループで
行動するのが
好きでしょ

女子は
すぐ感情的に
なるから

部長は男子から
選ば
いいんじゃない？

男子は
力仕事

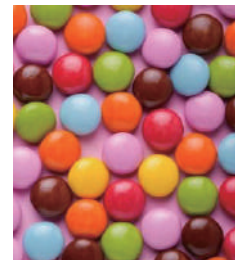
保育士や看護師
に向いているのは
やっぱり女子だよ

「男子だから」「女子だから」と、
最初から決めつけていませんか？
ひとはみんなそれぞれ違います。
中学生が100人いれば、100人の個性、夢があります。

知らないうちに
誰かを傷つけたり、
自分の夢をあきらめたり
していない？

私たちは長い歴史に育まれた、さまざまな社会・文化の中で暮らしています。その中で、誰もが無意識のうちに抱いている「男らしさ」「女らしさ」というイメージ。それを「ジェンダー」といいます。

そして、自分でも気がつかないうちに、「男性はこうあるべき」「女性はこういうもの」というバイアス（思い込みや決めつけ）を持ってしまい、何気ない言葉や態度で、悪気なく人を傷つけたり、自分の夢は叶わない、とあきらめてしまうことがあります。



あなたの将来の夢はなんですか？
誰もが自分の好きなことや興味のあることに自由にチャレンジできて、
周りもそれを応援して
あげられるといいですね



「プロ」の舞台に 目標は1級

サッカー審判
甲斐市立竜王小学校教諭
おおむら ことみ
大村 琴美さん



写真は「なでしこリーグ」での審判時。令和4年度全国高校サッカー選手権大会山梨県大会の決勝戦では、女性で初めて審判員を務めた。

人と同じじゃなくていい

静岡県の出身。友達に誘われ小学校1年生でサッカーを始めました。中学には女子サッカー部があったものの人数が少なく、男子の中で練習を続けました。やりにくい部分もありましたが、自分だけが経験できることがあるなら勇気を出して踏み込むべき、と思っており、男子の中に入って頑張り続けたことから学んだことはたくさんあります。進学した藤枝順心高校では女子高校サッカー選手権大会で全国優勝。怪我の影響もありプロの道は断念しましたが、山梨大学で教員を目指しながら、今度は「審判」という立場で大好きなサッカーと関わっていく道を選びました。審判は誰よりも一番近い場所で試合が見られる人。県内のトップの試合や高校生の頂点を決める試合などに自分が入っていけるのは審判の特権で、すごく幸せなことです。W杯カタル大会で活躍した女性審判員の姿は本当にかっこよかったですね！現在私は2級ですが、女子プロリーグでも活躍できる女子1級審判員の資格取得を目指し、教員として働きながら、これからも審判の勉強を続けていきます。(左の写真は高校時代)



夢

をあきらめないで

男性の仕事、女性の分野と、性別で決めつけていませんか？
さまざまところで夢を叶えて
頑張っている大人がたくさんいます。



花で世界に挑む

フラワーアーティスト
生花店 Bonne Vie 経営
こまつ ひろのり
小松 弘典さん

令和4年 国際的フラワーデザイン競技会の日本代表選考会で優勝。世界大会に出場する。

ひたすら失敗しよう

もともとは電気関係(半導体)の仕事をしていました。数々の失敗・挫折を経験し自分の生き方を見つめ直す中、人に勧められるまま、全く経験がなかった「フラワーアレンジ」の世界に飛び込みました。たくさんの人との出会いがあり、花と真剣に向き合ううちに負の感情は消え、自分の技術を高めることができました。「花」=「女性的」なイメージがあるかもしれませんが、実は花を扱うトップフロリストには男性がたくさんいます。大胆で豪快な作品を作る女性もいるし、繊細な花材を好む男性もいます。また、日本人と外国人では作品の雰囲気違う。個性は様々です。人と話すのが好き、歌が好きなど、誰にでも得意なことがありますよね。まずそれを伸ばせばいいと思うし、苦手な勉強も、もしかしたら将来に必要なパズルの1ピース、必須アイテムになるかもしれない。だから何事もとりあえず最低限のことはやっておきましょう。そして、たくさん失敗してください。全部成功しなくていいんです。失敗すると内面が輝きます。失敗できるってうらやましいこと。花を通じて、みんなに元気を与えられる存在になりたいと思っています。



中学生の皆さんは、どんな大人になりたいですか？
性別の枠にとらわれなくて、自分が挑戦したい、
自分が一番輝ける、と思うことをしてみましょう。

※このコーナーで紹介する方々の所属は、
令和5年2月当時のものです。



消防士

甲府地区広域行政事務組合
消防本部

【中央消防署】
いわせ ちは
岩瀬 千朋さん（警防係）

【南消防署】
いのまた ゆき
猪股 夕暉さん（警防係）

あきやま ゆう
秋山 雄さん（救急係）

たなか よしき
田中 克祈さん（高度救助隊）

秋山さん

岩瀬さん

猪股さん

田中さん

守り抜く!

上記の「守り抜く!」は甲府地区広域行政事務組合消防本部のキャッチフレーズです

大切な人を助けたい!

甲府地区消防本部には330人の消防職員が勤務しており、そのうち女性は10人。その中に24時間勤務で火事や救急の現場で活躍する女性の消防職員が6人いる。「高校時代、長野県の豪雨被災地へボランティアに行き、人命救助の大切さを感じた」（岩瀬さん）、「祖父を亡くした経験から救急救命士が目標になった」（猪股さん）など、きっかけは様々。日々、緊急事態に備え、男性職員と同様に、機械器具の点検や厳しい訓練を欠かさない。同僚の男性も「現場では女性の傷病者に寄り添い、詳細な観察ができる」（秋山さん）、「男性だけでは気づけない、救助の目線や注意点がある」（田中さん）と女性の活躍に期待を寄せている。「女性だからやらせてもらえないということはないし、自分からできないと思うことはない」（猪股さん）、「体力面では確かに差はあるが、それも自分の努力でカバーできる。」（岩瀬さん）と二人ともまっすぐに、たくましく、未来を見据えている。「実際に対応した傷病者が社会復帰された」と聞いたとき、大きなやりがいを感じる」（秋山さん）との言葉に、全員が大きくうなずいていた。

迷ったら、楽しそう、と思った方へ進め!

保育士になろうと思ったのは、中学生の時に、男性新米保育士が頑張るドラマを観たのがきっかけ。その後も「子どもに関わりたい」という気持ちがずっとブレませんでした。今、実際に仕事に就き、自分の思いは間違っていなかった、天職だとすら思えます。保育の中で、母親的な関わりなど、確かに男性の自分には難しいことがありますが、その逆もありますし、「性別の差」というよりは、人としての性格や経験の違いが大きいと思っています。得意なことを活かして、また足りないところは人に助けてもらいながら、自分自身が楽しんで働くことが大事。新しい、見たことのない世界に進みましょう。面白いこと、人との出会いが待っていますよ。



自然観察から 謎を解き明かす

研究者

山梨大学生命環境学部
環境科学科助教

むかい まな
向井 真那さん

「好奇心」を大切に

ずっと自然環境に興味があり、現場に行きたいという思いがありました。大学生時代に、鹿児島県屋久島で原生林の雄大さを実感。指導教員の自然を観察して仮説を導き、それを解き明かしていくという研究方針に感動して、今は森で研究することを仕事にしています。研究者は、不思議だなと疑問を持ち、面白いと思ったことを自分の興味の赴くままに研究できる、やりがいのある仕事です。サイエンス分野は今では確かに女性研究者が少なく、フィールド調査で男性との体力の差を感じる時もありますが、それは男女差というよりも個人の差と思っています。誰もが好奇心旺盛に、好きなことにチャレンジしながら、10年、20年後の自分を想像して進路選択ができるといいですね。



保育教諭 (※)

社会福祉法人わかば福祉会
幼保連携型認定こども園
わかば保育園

さとう りょう
佐藤 涼さん

※保育教諭とは認定こども園で働く、「保育士資格」と「幼稚園教諭免許」の二つの資格を持つ職員のことです。

中学時代から
あこがれた保育の道へ



子どもたちを 保健室から見守る

養護教諭

笛吹市立芦川小学校
ひらばやしりょうた
平林 諒大さん

自分の夢を貫いて

人体や生命に興味があり、人の助けになりたい、という思いもあって看護学部へ進学。その後の実習で、子どもの頃に生活習慣を整えることが大事だと気づいたこと、また何より子どもたちが好きだったことから、別の大学に編入して養護教諭を目指しました。大学の同級生はほとんどが女性でしたし、「保健室の先生＝女性」のイメージがあるかもしれませんが、実は男性もいるんです！私自身には全く違和感はなく、男子にも女子にもしっかり心配りができる保健室の先生を目指しています。中学生の皆さんには、性別にとらわれて、男だから（女だから）ダメだ、と決めつけずに、自分の夢を貫いて欲しいし、それができる世の中であって欲しいと願っています。

やりたいことに挑戦しよう

人々の健康づくり、病気になる前の予防にあたる事が出来る仕事に魅力を感じ、保健師になりました。生活習慣改善の大切さや方法を伝えたり、時には一緒に身体を動かしたり。様々な方法で市民と共に健康づくりに取り組んでいます。健康な身体に近づいた対象者の方と、喜びを分かち合えたときに、保健師としての楽しさややりがいを感じています。大学では、1学年100人に対して、男子学生が10人程度。しかし男女の違いでやりづらさを感じたり嫌な思いをしたことはなく、大学時代の友人は、男女問わず今でも大切な友人です。全国を見ても男性保健師はまだ全体の1割程度。自分の職場でも少数派です。ふとした瞬間に職場を見渡すと、大学時代同様、自分以外は女性ばかりだと思いますが、違和感はありません。同僚と助け合いながら日々楽しく働いています。中学時代、吹奏楽部に入ろうとしたら男子が2人だけだったので、当時の僕は断念しました。『他の男子から変な目で見られるかも』『男子なのに女子の中にいたら恥ずかしい』と無意識に考えていたのかもしれませんが、

やりたいことを断念した経験は、後悔として僕の中に残っています。自分らしさを大切に。やりたいことには挑戦してみましょう！

保健師

甲府市 福祉保健部 健康支援室 地域保健課
いしはら しょう
石原 匠さん
(右が石原さん)



個人や地域と 伴走する保健師に

技術と努力はうそをつかない

社内では、女性の現場監督は私一人ですが、先輩たちの背中を見ながら日々刺激を受け、分からないことは素直に聞き、自ら率先して動くなど努力しました。その結果、今では男女の区別なく、「一人前の監督」として認めてもらうことができていると感じています。土木工場の現場の所長として、働く人の安全や品質管理、工事が適正に計画通り進んでいるかなど、幅広い業務に目配りをし、仲間とともに作り出した現場が完成したときは、大きな達成感、充実を感じます。「土木・建設工事」には男性の力仕事のイメージがあり、確かに男性が多い職場ですが、気持ちよく頑張れる環境で、子育てや仕事も充実しています。私は県内の女性建設技術者が集まる「けんせつ小町甲斐」というグループのリーダーですが、皆さん「技術者」としてプライドをもって活き活きと働いていて、カッコいいですよ！限度を決めつけず、様々なことに挑戦を。自分を信じてあきらめずに進み、未来を手に入れて下さい！



建設現場で 先頭に立つ

工事現場監督

昭和建設(株) 工事部 工務課長
まえしま せつこ
前嶋 世津子さん

中学生の君たちへ 萩原 なつ子

21世紀を生きるきみたちに、人生の標準モデルはない！道を切り開くのは「わたし」だ。そう、人生は誰のためでもない自分のためのものだから。自分らしい人生を模索し、選択できる新しいステージ（舞台）

にきみたちは立っている。主役は「わたし」。将来、どのような人生を送りたいのか、自分の生き方や働き方を思い描き、その人生を送るためのライフプランを、いろいろな可能性を考えながら描いてみよう。そして、行動してみよう。学業、ボランティア、旅などを通して様々な経験を積み、たくさんの人と出会い、多くの情報や発想と触れるだろう。人生の選択肢は多様。見たり、聞いたり、試したり。いろんな人に助けられたり、助けたり。なんどでも挑戦し、失敗をくりかえす。試行錯誤は楽しい。ライフプランはV1、V2、V3と何度もバージョンアップさせていこう。ヒントは本書の中にちりばめられている。さあ、人生のシナリオを書き始めよう。

※萩原なつ子さん 山梨県出身。立教大学名誉教授。独立行政法人国立女性教育会館理事長
山梨県男女共同参画・共生社会推進統括アドバイザーを務める。

知っていて欲しいこと



SDGsとジェンダー平等

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字をとったもので、地球上のさまざまな問題を解決するために、世界中の国々が力を合わせて2030年までに達成しようと決めた17の目標のこと。日本語では、「持続可能な開発目標」となります。持続可能とは、今もそして未来も続いていくこと。つまり、SDGsは地球をずっと持続させる、人々が暮らし続けられるようにするための目標です。

5 ジェンダー平等を実現しよう



NO.5は「ジェンダー平等」

…でも それだけじゃないよ

17ある目標のひとつに、「ジェンダー平等」が掲げられています。性別による差別を無くし、すべての女性と男性が対等に、権利・機会・責任を分かち合える社会を作ること、女性が自分のことを自分で決めながら生きる力をつけられるようにすること。それが「ジェンダー平等」です。

SDGsは聞いたことあるなあ。

17の目標すべてにジェンダー平等が関わっているんだって。

「目標のひとつ」だけじゃないんだね。



性別で差別を受けることのない社会がいいよね。

「ジェンダー平等の実現と女性の「エンパワーメント※」はすべての目標を達成するのに極めて重要」って、全体の最初に書いてあるよ。

※エンパワーメント / 一人ひとりが本来持っている力を発揮し、自分の人生を自分で決めて自発的に行動できるようになること

知っていて欲しいこと

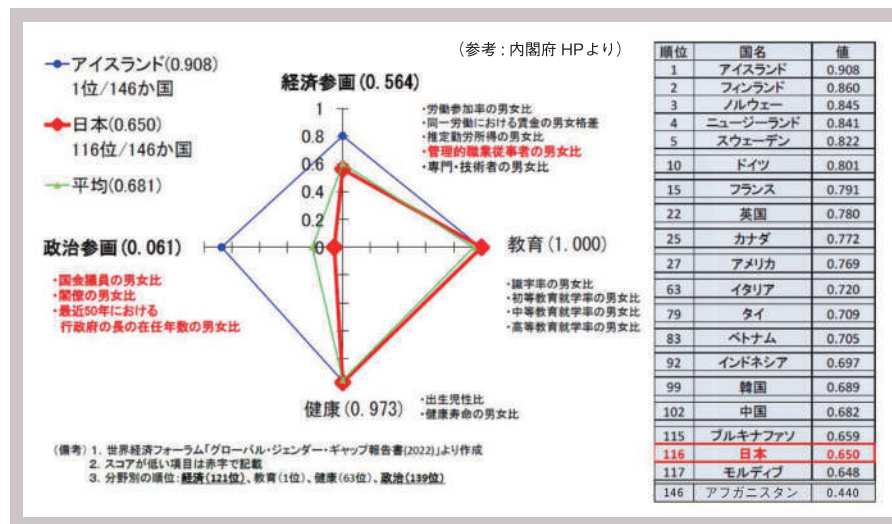
世界と日本を比べてみたら

ジェンダーギャップ指数



世界各国(146ヶ国)の男女平等(ジェンダー平等)の進み具合を比べた「ジェンダーギャップ指数」っていうのがあるんだって。100点満点に換算すると、1位のアイスランドは91点。じゃあ日本は？
 ジャーン！65点で116位だよ。(2022.7.13「世界経済フォーラム発表」に基づく)

最下位はアフガニスタンで44点。あれ？日本とそれほど差がない。日本は平和で経済も進んでいると感じていたから、もっと上位かと思った。146ヶ国中116位・・・どうして順位が低いのかな。



日本は教育は1位。健康は63位なんだよ。だけど、「経済」と「政治」の値が低いんだ。企業の管理職や国会議員、技術者などに、まだまだ女性が少ないことや、賃金に男女の差があるのが原因なんだって。

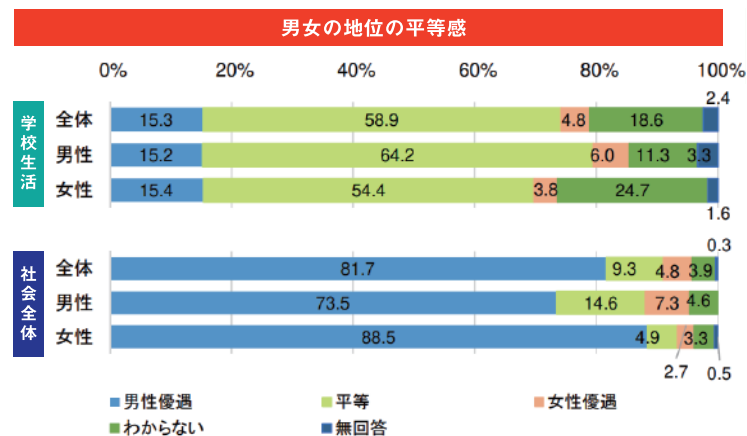
知っていて
欲しい
こと

誰もが「平等」と感じられる山梨県を目指して

山梨県民の意識

アンケートで聞いてみたよ

Q 男女は平等？

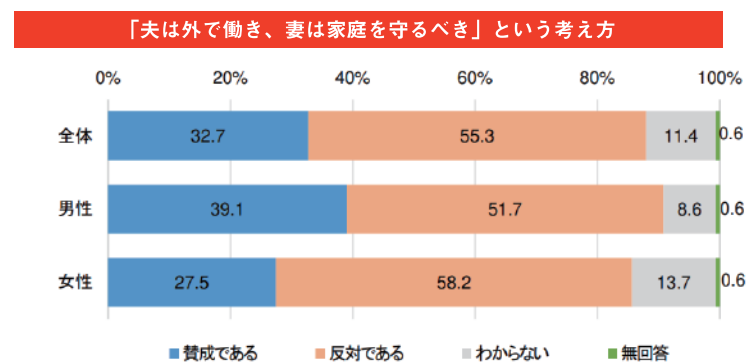


資料：山梨県県民生活総務課「令和2年度男女共同参画に関するアンケート調査」



社会全体では、「男性優遇」だと感じている人が多いね。

Q 夫は外で働き妻は家庭を守る？



資料：山梨県県民生活総務課「令和2年度男女共同参画に関するアンケート調査」



「こうあるべき」として決めている人が少ないなあ。

知っていて
欲しい
こと

何があっても 暴力はNO!

デートDV・性暴力

「DV(ドメスティック・バイオレンス。配偶者など親しい人からの暴力のこと)」は大人だけの問題ではありません。中高生や大学生など若者の間でも、交際相手からの暴力…「デートDV」が起きています。

交際経験のある人の約8人に1人が被害を受けています

(R3.3内閣府「男女間における暴力に関する調査」)

STOP暴力

殴る、たたく、蹴る、はもちろん暴力。

暴力のない対等な関係が大切

無理矢理お金を払わせるのも暴力。

相手を傷つける発言や、バカにしたことを言うのは暴力だよ。

スマホの返信が遅いとか他の異性と話すなって怒る。イヤなのに触ってきたり。これも暴力だよ。

女性だけでなく、男性で被害を受けている人もいます



山梨県は皆さんに「デートDV」を知ってもらうための動画を作りました。



交際相手などとの関係の中で、「いやだ」、「こわい」と感じることはありませんか？もしあったら、ガマンしないでイヤなことは「イヤ」と伝えましょう。ひとりで悩まず相談することも大切です。また、もし周りの人が悩んでいたら、話を聞き、相談できる場所があることを教えてあげましょう。

DV相談+



(電話・メール・SNS相談)
24時間電話相談

つなくはやく
0120-279-889